2点目の木簡が出土！

福島西道路改築事業の発掘調査（西久保遺跡）で、2点目の木簡（文字が記された木札）が出土しました。

赤外線画像の分析により、6文字のうち5文字が判明しており、郡司が西久保遺跡に来ないことを伝える書状と考えられます。

■問／文化振興課 ☎525―3785

読み　ぐんじ　まいらずのじょう □

推定される文字　不　参カ

読み取れる文字　郡　司　□　□　状　□

赤外線画像

実物

サイズ：長さ13㎝、幅2.7㎝、厚さ0.3㎝

年　代：7世紀～9世紀ごろ（出土した土器の年代から推定）

この木簡にはどんな意味があるのか？

国司などの有力者が郡境を出入りする際は、地元の郡がもてなしをすることがある。西久保遺跡でも同様のことをしていたとすれば、この木簡は「信夫郡の郡司はもてなしの場に来られない」ということを伝える書状と考えられる。

また、西久保遺跡は、郡司が訪れるような性格の遺跡で、役所の機能を持つ有力者の居宅と考えられる。

（宮城県多賀城跡調査研究所 吉野所長）

熱中症に注意しましょう！

近年、熱中症による死亡者や救急搬送者が増加しています。

熱中症は、適切な行動をとることで防ぐことができます。本格的に暑くなる前に、熱中症予防のポイントを押さえ、暑い夏を上手に乗り切りましょう。

■問／健康づくり推進課 ☎597―8616

⚠バランスの取れた食事・適度な運動・十分な睡眠で暑さに負けない体づくりをしましょう！

⚠エアコンなどを使用し、涼しい場所で過ごしましょう！

⚠喉が渇く前に、こまめに水分を補給しましょう！

暑い夏は「ふくしま涼み処」で一休み

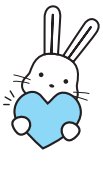
6月1日から9月30日まで、市内の公共施設や民間施設に、暑い日の外出時に休憩できる「ふくしま涼み処」を開設します。

対象施設は左のポスターが目印です。営業時間内であれば、誰でも無料で利用できます。熱中症予防のため、ぜひお立ち寄りください。

■問／危機管理室 ☎525―3793

詳しくは市ホームページをご覧ください。▶

自分のペースで進めよう 心のバリアフリー



市では、誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指して、「心のバリアフリー」の普及・促進に取り組んでいます。

■問／共生社会推進課 ☎572―3948

心のバリアフリー推進キャッチフレーズ

共生、学びは無限大

このキャッチフレーズには、「それぞれに違っている人と人が共に生きるから、学び合えることがたくさんある」という思いが込められています。

このキャッチフレーズを合言葉に、心のバリアフリーをさらに進めていきましょう！

【読んでみよう】広報紙「ここフリ」

心のバリアフリーについて、分かりやすい言葉で紹介している広報紙です。

心のバリアフリーの第一歩は「知ること」と「気づくこと」です。

自分のペースで心のバリアフリーを進めてみませんか？

ここフリ

【使ってみよう】福島市バリアフリーマップ

高齢者や障がい者、小さなお子様連れ、外国人など、全ての方に役立つバリアフリー情報をまとめたWeb版のマップです。お出かけの際は、ぜひご活用ください。